

学びのデザインシート	11月7日(月)	授業者(小山 長俊)
学級名	1年5組	男子16名 女子16名 計32名
教科名	社会科(地理的分野)	
単元名	第3章「世界の諸地域」 2節「ヨーロッパ州 ～国どうしの統合による変化～」 4「ヨーロッパの課題とロシア連邦」	
本時の目標	○ イギリス国民がEUを離脱する決断を下した理由について、複数の資料の読み取りや学び合いを基に、多面的・多角的に考察することができる。	
本時の評価規準	○ イギリス国民が、EUを離脱する決断を下した理由について、EUが抱える経済面や政治面の課題と関連付けながら表現している。(社会的な思考・判断・表現)	
<p><本時の授業の流れ></p> <p>1 前時までの復習を行い、EU設立の趣旨やEU統合の利点を確かめる。【共有】(コの字)</p> <p>2 6月24日の新聞記事から、「イギリスが、国民投票によってEUを離脱する決断を下した」事実を掴み、ジャンプの課題を設定する。</p> <p>【ジャンプの課題】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>イギリス国民が、国民投票でEUを離脱する決断を下したのは、なぜだろうか？</p> </div> <p>3 「イギリス国民が、国民投票でEUを離脱する決断を下した理由」について、複数資料の読み取りをもとに自分なりの考えをもち、なぜそう考えたのかという根拠を出し合い、お互いの考えを深める。(4人グループ)</p> <p>4 本時の授業を振り返り、「EU統合の利点と課題点」について、自分の考えをまとめ直す。(コの字)⇒時間を見て、意図的指名を数人に</p> <p>5 「ポンポン船で帰りたい」のCDを聞きながら、次時の学習内容へのイメージをもつ。</p> <p><授業者より></p> <p>○ 今年6月24日に世界中の話題となった「イギリス国民が、国民投票でEUを離脱」という社会的事象の背景について、資料をもとにして考え、「グローバル化の中の地域格差拡大」に気づかせたい。</p> <p>※ここでは、あくまで地理的分野にかかわる内容を中心に扱う。公民的分野や歴史的分野にかかわる内容にも触れざるを得ないが、あまり深入りしすぎないようにとどめておきたい。</p> <p>○ 【ジャンプの課題】に対する課題追究に向けての手立てについては、『ヨーロッパに流入する外国人労働者』『EU各国の一人あたりの国民総所得』等の地図資料を比較して、EU内の経済格差が拡大している実態に気づかせたい。また、『ギリシャ危機』の資料から「ギリシャ」がEUに残留した背景をとらえさせることで、「イギリス」との比較を行い、思考に揺さぶりをかけたい。</p> <p>※『NHKスペシャル・イギリスEU離脱の衝撃』の映像資料は、生徒の思考過程を見て使用したい。</p>		

